

「症例サマリー & エッセイ」について

■ はじめに

この度は関西家庭医療学センターの専門研修プログラムにご応募いただき、誠にありがとうございます。

当センターの採用試験では、皆さんが医師になってからこれまで、どのような経験をし、どのような学びを得たかを確認することを目的として、試験前に「症例のサマリー & エッセイ」というものを提出していただいております。

お忙しい中恐縮ではございますが以下の内容に沿って、7月28日(月)までに作成の上、office@kansai-fm.jp宛に提出をお願いいたします。

作成にあたってご不明な点等ございましたら、同じく office@kansai-fm.jp までお問い合わせください。

■ 症例の選択

初期研修を中心にこれまでに経験した事例のうち、「医師として成長の糧になった症例」「忘れられない患者さん」「苦勞も学びも多かった事例」のいずれかに該当するものを1例、選択してください。

なお作成に際し、研修中にご自身で作成した退院サマリーやレポートの内容を引用していただいても構いません（文面を切り取ってコピー & ペーストする形でも OK です）。

■ 記載順序

以下の流れに沿ってタイトルを記載の上、サマリー部分とエッセイ部分が半々となるよう記載してください。

サマリー部分が長くなってしまっても、サマリーとエッセイの比率が2:1程度となるよう留意し、A4 2枚程度に収めてください。

1. タイトル

事例の概要とご自身の経験をセットで、端的に表現したタイトルを自由に記載してください（文字数は問いません）。

例1：“指導医の病状説明へ参加・一部対応して経験値を増やした事例”

例2：“初めて診たがん終末期患者さんの看取りの経験”

例3：“経験したことがない症状や徴候について、診断過程を学習しながら対応することで、診断へのアプローチについて学んだ事例”

2. サマリー部分

医学的な情報を中心に、端的に記載してください。

<患者情報>

年齢、性別、医療機関名、入院診療科、入退院日、受持期間、転帰について記載してください。

<確定診断名>

入院症例であれば主病名のみを記載、救急外来・初診外来の症例であれば主訴での代用も可。

※ 特に重要な副病名や合併症がある場合は、そちらも記載してください。

<病歴>

主訴や主病名の疾患を中心に記載してください。

必要に応じて既往歴、家族歴、アレルギー、嗜好歴、社会歴などについても記載してください。

<入院時身体診察> <検査所見> <画像診断>

※ A4 2枚に収めるため、重要なものみの記載で構いません。

<プロブレムリスト>

プロブレムリストに挙げられるプロブレムは診断名ではなく、患者さんを診察していく上で問題となる項目のリストとなります。

<入院後の経過>

検査等を含む診断過程やその根拠、治療および転帰について記載してください。

<医学的な考察>

主訴や主病名を中心に、その診断の妥当性、治療法選択における是非などを考察し、記載してください。

3. エッセイ部分

ご自身の感情面（葛藤、喜怒哀楽）を重視しながら、思考過程を自由に記載してください。

<経験を通じて得られたこと>

当該事例を担当、経験したことで勉強になったこと、患者さんに教えられたこと、事例に関わるチームや多職種から学んだこと、指導医からの忘れられない言葉など、ご自身にとっての意味や成長の糧について、考えるまま、感じるままに記載してください。

※ 一度に書き上げるのではなく、時間を置いて読み直し、事例を咀嚼しながら推敲を重ねて記載することをおすすめいたします。

<経験を通じて得られた今後の目標>

当該事例を担当し、経験したことで受けた影響、得られた医師としての新たな目標、続けていきたい学習・研鑽のあり方や医師としての志、獲得したい・向上したい能力について記載してください。